

SUKAGAWA SHINKIN BANK

第111期

業 務 報 告 書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



須賀川信用金庫

ごあいさつ

初夏の風が心地よい季節を迎え、会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、ここに第111期（令和5年度）の事業概況と決算状況につきましてご報告申し上げます。

令和5年度の国内経済は、ようやく新型コロナウイルス感染症からの回復を果たし、社会経済活動の正常化が進んだことから、国内景気は緩やかな回復が続いております。

しかし、ウクライナやパレスチナなどをめぐる地政学的リスクの増大や欧米の中央銀行の金融引き締めに伴う円安局面の長期化、中国経済の先行き懸念、日銀の金融政策の動向、米国大統領選挙や国内の政治状況等も考えると、国内外共に金融・経済の両面で不確実性が高い状況が続いております。また、中小企業を取り巻く経営環境は、人口減少・少子高齢化等の構造的問題や、円安の長期化による資源価格の上昇等により、依然として厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境の下、令和6年度は、新中期経営計画「すしん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画」～“すしん”の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～」をスタートさせます。その経営目標を「当金庫は、会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る。」とし、事業者のお客さまに対しましては、「事業性評価の深化、伴走支援の推進」、個人のお客さまに対しましては、「生活設計支援・生涯設計支援」、地域に対する取組としましては、「面的支援による魅力と活気溢れる地域づくり」の3つの重要課題を掲げて、役職員一丸となり積極的に取り組んでまいります。

当金庫は、お陰さまで今年10月に創立110周年を迎えることができます。創業時の設立趣意書に謳われており当金庫の基本方針であります「創業の趣意を体し、地縁性金融機関として、地域の発展に奉仕する。」を再度胸に刻み、地域社会・地域経済の発展に向けて、地域密着型金融の取組をさらに深化させてまいり所存でございますので、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



理事長
伊藤 平男

事業の概況

事業方針

地縁性金融機関として、「相互扶助」の精神に基づき、地域やお客さまに寄り添いながら地域が抱える課題解決に取り組み、中期経営計画「すしん『支援力の強化と変革への挑戦』3か年計画」の最終年度にあたり、取引先の「資金繰り支援」、「本業支援・経営改善支援」、「事業承継・再生支援」、「個人と地域社会の課題解決支援」を経営目標に掲げ活動いたしました。

金融経済環境

令和5年度（2023年度）のわが国経済は、コロナ禍からの回復を果たし、社会経済活動の正常化が進んだことから、国内景気は緩やかな回復が続いております。他方、海外情勢は、ウクライナや中東等を始めとする地政学的リスクの増大、中国経済の先行き懸念、欧米の金融引締め動向といった不確実性が高い状況が続いており、我が国の景気を下押しするリスクが引き続き懸念されております。そのような中、日本銀行は金融緩和の姿勢は維持しているものの、マイナス金利の解除に踏み切ったことから、市場金利の上昇等、金融政策の正常化を見据えたりリスク・マネジメントの重要性を増している状況にあります。

また、中小企業等を取り巻く経営環境は、人口減少・少子高齢化等の構造的課題や、円安の長期化による資源価格の上昇等により依然として厳しい状況にあることから、当金庫はゼロゼロ融資の返済本格化を踏まえた資金繰り支援や経営改善支援はもとより、販路拡大支援や個人ならびに地域社会が抱える様々な課題解決支援に全力で取り組んでまいりました。

業績

預金は、法人預金は減少しましたが、個人預金は地域に密着した営業活動に努めた結果増加し、期末残高では前期末比30億円増加の2,413億円となりました。期中平均残高でも、法人預金は減少しましたが、個人預金、公金預金が増加し、前期末比14億円増加の2,425億円となりました。

貸出金は、個人向け、地方公共団体向け、金融機関向けが増加しましたが法人向けで減少し、期末残高では前期末比6億円減少の1,110億円となりましたが、期中平均残高では、前期末比23億円増加の1,116億円となりました。

収益面では、経常収益は、資金運用収益が前期比39百万円増加、役務取引等収益が前期比10百万円増加したこと等によ

り前期比22百万円増加の2,731百万円となりました。一方、経常費用は、信用コストが増加しましたが、国債等売却損が減少したことや人件費等の経費が減少し、前期比86百万円減少の2,264百万円となりました。その結果、経常利益は前期比109百万円増加の466百万円、当期純利益は前期比46百万円増加の372百万円を計上し、増収増益となりました。

事業の展望

当金庫が地域社会から信頼される経営展開を推し進めるために、令和6年度をスタートとする新中期経営計画「すしん『未来を拓く変革への挑戦』3か年計画～“すしん”の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～」の経営目標を、「当金庫は、会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る。」と掲げ地域社会・地域経済の持続的な発展に向けて、業務展開を進めてまいります。

対処すべき課題

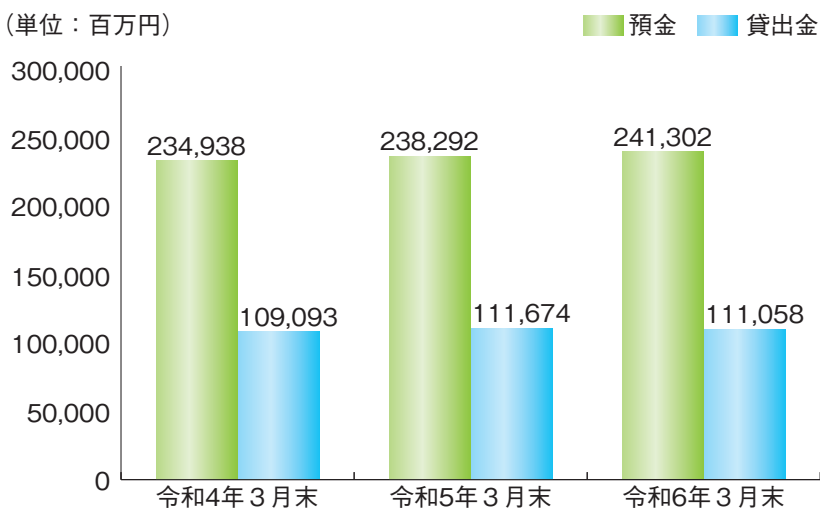
当金庫の使命は、社会・経済が多岐にわたり変化するなか、地縁性金融機関として、会員や地域の皆さまとしっかりと向き合い、地域が抱える様々な課題解決に努め、持続的な地域社会の発展に貢献していくとともに、盤石な経営基盤を築き、地域やお客さまから必要とされ続け、これを揺るぎないものとすることにあります。

このために、令和6年度からスタートする新中期経営計画において、①事業者のお客さまに、事業性評価の深化、伴走支援の推進、②個人のお客さまに、生活設計支援・生涯設計支援、③地域に対する取組みは、面的支援による魅力と活気溢れる地域づくりを掲げ、地域密着型金融の取組みをさらに深化させてまいります。

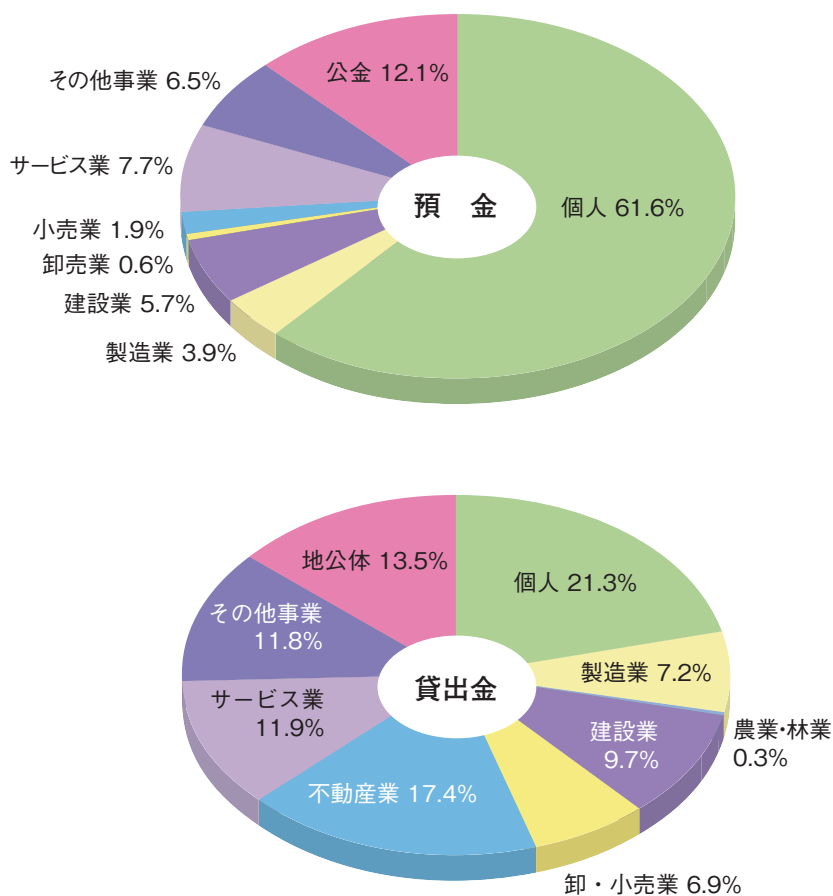
業績の推移

預金・貸出金残高の推移

(単位：百万円)

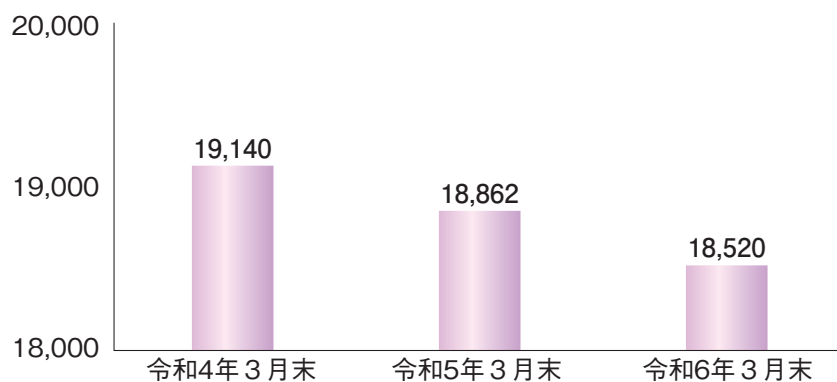


預金・貸出金業種別残高比率



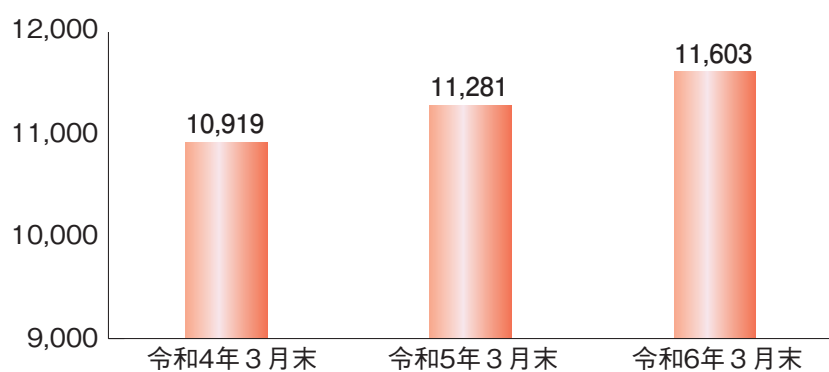
会員数の推移

(単位：人)



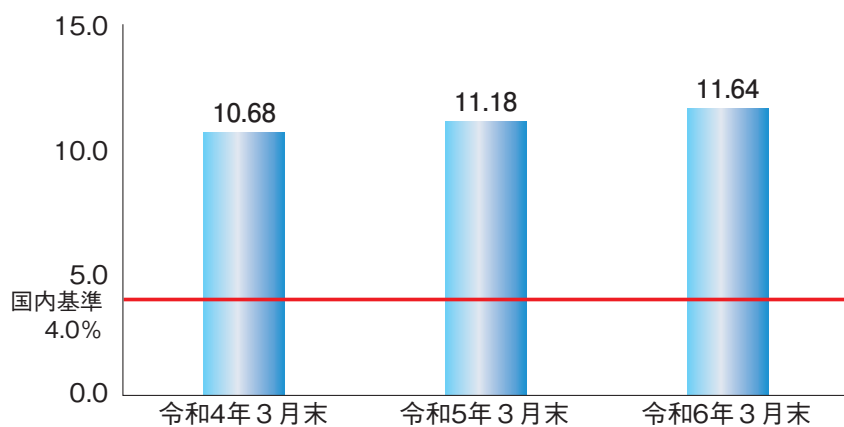
自己資本額の推移

(単位：百万円)



自己資本比率（国内基準）の推移

(単位：%)



第111期 (令和6年3月31日現在) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	3,106	預 金 積 金	241,302
預 け 金	62,374	当 座 預 金	7,669
買 入 金 銭 債 権	1,317	普 通 預 金	137,109
有 価 証 券	69,284	貯 蓄 預 金	1,234
国 債	4,369	通 知 預 金	333
地 方 債	11,674	定 期 預 金	88,253
社 債	33,020	定 期 積 金	5,067
株 式	287	そ の 他 の 預 金	1,634
そ の 他 の 証 券	19,931	借 用 金	140
貸 出 金	111,058	借 入 金	140
割 引 手 形	455	そ の 他 負 債	500
手 形 貸 付	6,924	未 決 済 為 替 借	170
証 書 貸 付	99,346	未 払 費 用	70
当 座 貸 越	4,331	給 付 補 填 備 金	1
そ の 他 資 産	1,697	未 払 法 人 税 等	64
未 決 済 為 替 貸	92	前 受 収 益	34
信 金 中 金 出 資 金	1,186	払 戻 未 済 金	16
未 収 収 益	233	払 戻 未 済 持 分	2
そ の 他 の 資 産	185	職 員 預 り 金	73
有 形 固 定 資 産	2,556	資 産 除 去 債 務	32
建 物	1,285	そ の 他 の 負 債	33
土 地	1,113	賞 与 引 当 金	54
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	156	退 職 給 付 引 当 金	132
無 形 固 定 資 産	23	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	70
ソ フ ト ウ ェ ア	16	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	12
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	6	偶 発 損 失 引 当 金	24
繰 延 税 金 資 産	162	債 務 保 証	845
債 務 保 証 見 返	845	負 債 の 部 合 計	243,082
貸 倒 引 当 金	△925	(純資産の部)	
(うち個別貸倒引当金)	(△861)	出 資 金	933
		普 通 出 資 金	933
		利 益 剰 余 金	10,646
		利 益 準 備 金	919
		そ の 他 利 益 剰 余 金	9,727
		特 別 積 立 金	9,095
		当 期 未 処 分 剰 余 金	632
		処 分 未 済 持 分	△0
		会 員 勘 定 合 計	11,580
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△3,162
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△3,162
		純 資 産 の 部 合 計	8,418
資産の部合計	251,500	負債及び純資産の部合計	251,500

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第111期 (令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	2,731,592
資金運用収益	2,333,673
貸出金利	1,653,792
預け金利	126,803
有価証券利息配当金	528,688
その他の受入利息	24,389
役務取引等収益	361,107
受入為替手数料	157,012
その他の役務収益	204,094
その他の業務収益	21,825
国債等債券売却益	12,725
その他の業務収益	9,100
その他の経常収益	14,985
株式等売却益	13,940
その他の経常収益	1,044
経常費用	2,264,651
資金調達費用	24,340
預金利息	20,012
給付補填備金繰入額	1,226
借入金利息	2,746
その他の支払利息	356
役務取引等費用	203,933
支払為替手数料	39,795
その他の役務費用	164,138
その他の業務費用	2,646
その他の業務費用	2,646
経常費用	1,938,426
人件費	1,229,580
物件費	636,591
税金	72,255
その他の経常費用	95,304
貸倒引当金繰入額	70,826
株式等売却損	11,482
その他の経常費用	12,994
経常利益	466,940
特別損失	409
固定資産処分損	409
税引前当期純利益	466,531
法人税、住民税及び事業税	112,506
法人税等調整額	△18,181
法人税等合計	94,325
当期純利益	372,206
繰越金(当期首残高)	260,382
当期末処分剰余金	632,589

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第111期 (令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで) 剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	632,589,287
剰 余 金 処 分 額	331,981,819
利 益 準 備 金	13,800,250
普通出資に対する配当金	(年2%) 18,181,569
特 別 積 立 金	300,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	300,607,468

以上のとおりであります。



須賀川信用金庫

理 事 長 伊 藤 平 男
 常 務 理 事 大 木 正 一
 常 務 理 事 加 藤 勉
 理 事 大 槻 次 男
 理 事 岩 井 勇 也
 理 事 安 藤 秀 和
 理 事 福 田 学
 非常勤理事 佐 藤 俊 彦
 非常勤理事 橋 本 幸 江

以上各項を監査の結果、その正確なることを認めます。

令和6年5月28日

常 勤 監 事 鈴 木 伸 太 郎
 非常勤監事 滝 田 賢 治
 非常勤監事 矢 吹 信 一

(注) 監事 滝田賢治は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

独立監査人による監査報告

信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、独立監査人である公認会計士 鈴木 一徳氏及び公認会計士 田中 亮氏の監査を受け、適法であると認められております。

トピックス

悩み・困りごと特別相談会

当金庫顧問弁護士による
無料法律相談会を5/19・5/20、11/17・11/18に実施

県下信用金庫一斉 クリーン作戦 (清掃活動)

全営業店・本部役職員
が参加し、6/15、10/11
に実施



第110回 通常総代会

6/23に開催し、5つの議
案を承認可決



東北・夢の桜街道運動 絵画コンクール

東日本大震災復興応援
プロジェクト「東北・
夢の桜街道運動」に協
賛し、須賀川市と古殿
町の小学生を対象に絵
画コンクールを実施



第9回 須賀川信用金庫理事長杯野球大会

8/19・8/26に実施
須賀川・岩瀬管内の9校が参加

献血協力

9/11・1/17

須賀川市の協力要請により移動献血車にて献血協力



松明あかし

11/11

日本三大火祭り
「松明あかし」に参加



新春講演会

すしん信和会、須賀川しんきん経営者協議会及び、すしんオンリー1倶楽部の共催により、瀬古利彦氏を講師に迎え1/24に開催



消火訓練

3/26

水消火器を使った消火器取扱訓練を実施



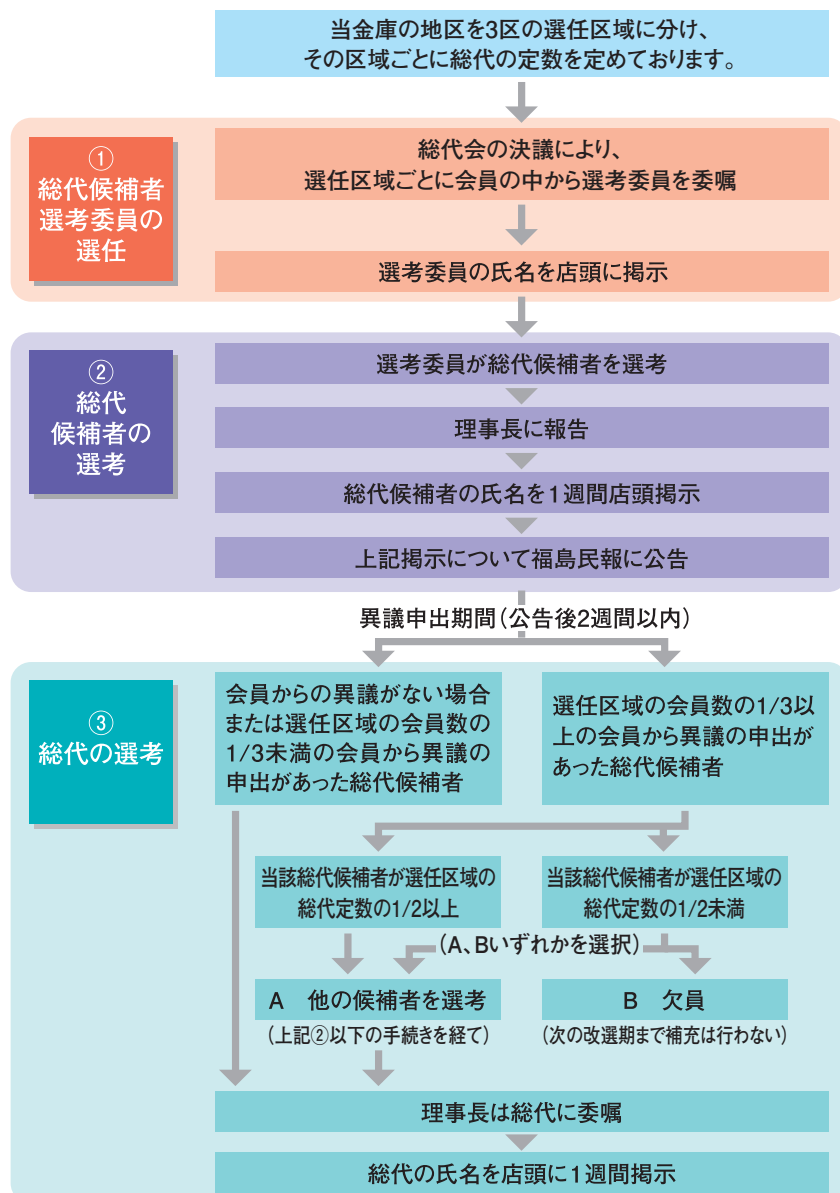
総代会等に関する情報開示

1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代わり総代会制度を採用しております。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の業務を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2 総代が選任されるまでの流れ



3 総代選任区域及び総代数

令和6年3月31日現在

地区	区 域	人数
1区	須賀川市 鏡石町 天栄村	(60) 58
2区	石川町 古殿町 玉川村 平田村 矢吹町の一部	(19) 19
3区	郡 山 市	(21) 21

注 ()内は定数です。

4 第111回通常総代会

令和6年6月25日、第111回通常総代会を開催し、下記の事項につきいずれも原案通り承認可決されました。

報告事項

第111期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）
業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

決議事項

第1号議案 第111期剰余金処分案承認の件
第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
第3号議案 総代候補者選考委員20名選任の件



INFORMATION

店舗所在地

(令和6年4月1日 現在)

店舗名	所在地	電話番号	ATM設置台数
①本店営業部	〒962-0842 須賀川市宮先町31番地	(0248) 75-3171	
②駅前支店	〒962-0859 須賀川市塚田88番地	(0248) 75-2168	
③石川支店	〒963-7851 石川郡石川町字新町11番地	(0247) 26-3111	
④郡山支店	〒963-8871 郡山市本町二丁目1番9号	(024) 932-2005	
⑤桑野支店	〒963-8025 郡山市桑野二丁目35番7号	(024) 934-0171	
⑥鏡石支店	〒969-0401 岩瀬郡鏡石町不時沼331番地5	(0248) 62-3175	
⑦長沼支店	〒962-0203 須賀川市長沼字金町151番地	(0248) 67-3171	
⑧上町支店	〒962-0864 須賀川市北上町84番地5	(0248) 76-5911	
⑨西川支店	〒962-0054 須賀川市牛袋町121番地1	(0248) 76-3171	
⑩古殿支店	〒963-8305 石川郡古殿町大字竹貫字竹貫38番地1	(0247) 53-3727	
⑪富田支店	〒963-8045 郡山市新屋敷一丁目167番地	(024) 921-0222	
⑫玉川支店	〒963-6312 石川郡玉川村大字小高字南嚙10番地1	(0247) 57-4178	
⑬安積支店	〒963-0105 郡山市安積町長久保三丁目3番1	(024) 945-1222	
⑭須賀川市役所支店	〒962-0831 須賀川市八幡町135番地	(0248) 72-2121	

※全てのATMで、通帳繰越機能がご利用いただけます。
 ※全てのATMに視覚障がい者用ハンドセットが設置されています。
 ※全てのATMに点字表示が標準化されています。



入金・払戻・記帳・振込(現金取扱可)・定期預金取引可
 ※須賀川市役所支店は現金振込の取扱いはありません

◎須賀川市内に6店舗、郡山市内に4店舗、
 石川郡内に3店舗、岩瀬郡内に1店舗の**合計14店舗**がございます!

INFORMATION

■ 店舗外自動サービスコーナー (令和6年4月1日 現在)

設 置 場 所	
須賀川市内	上町支店 川東出張所(大東商工会隣) ●
	公立岩瀬病院 ●
	ヨークベニマルメガステージ須賀川南店 ●
	ヨークベニマル須賀川森宿店 ●
	ながめまショッピングパーク アスク ●

●入金・払戻・記帳・振込(当金庫および提携金融機関CDカードの取扱可)・定期預金取引可



**しんきん
通帳アプリ**

ご利用
無料

いつでもどこでも、
入出金明細や残高を
スマホで確認!

※詳しくはホームページをご覧ください。

または、店舗にリーフレットを備え付けてございますのでお気軽にお問合せ下さい。

福島県しんきんゼロネットサービス

福島県内8信用金庫のATMご利用手数料が

365日 終日無料

福島県内8信用金庫が設置するATMから営業時間内
であればご利用手数料が無料で現金のお預入れ・
お引出しができます。

※県内8信用金庫以外が幹事となっている共同ATMおよび
コンビニATM等は対象外となります。



おかげさまで令和6年10月に110周年を迎えます

地域をつなぎ、地域と共に歩む



須賀川信用金庫